

也

〔勢州軍記上〕勢州諸家第一

北島一家者木造御所也。號油小路也。是顯能公之子息、北島中納言顯俊卿始守木造城爲副將軍、其子中納言俊通卿始奉後小松院居住於壹志郡木造爲國司之興力。

〔飛州軍覽記〕飛驒國司滅亡之事

國司姉小路賴纜朝臣ハ、小鷹利ノ城主也。先祖代々公家ヨリ出テ、當國ノ國司タリ、建武年中、後醍醐天皇南朝ニ皇居ノ時、當州ノ國司ニ定メ給フ、四代目ニシテ參議藤原尹纜朝臣ハ、小島ノ城ニ居タリ、此國司一國ヲ治テ繁榮ナレドモ、南朝ノ宮方日々ニ衰テ、足利尊氏、天下ヲ奪フ、然レドモイマダ一統セズ、依之暫クハ無事ナリシトイヘドモ、義滿ノ時ニ至テ、○中應永十八年八月十三日、小島落城シテ、國司尹纜ヲバ朝倉ノ家人井上新兵衛討之、凡國司四代年數八十三年也。

〔常照愚草〕一帝皇をば、後鳥羽院など、後と申也、攝家をば、後成恩寺殿など、ノチと申也。

〔玉勝間六〕後京極の事なへ  
後京極攝政は、つねには後字音にてごとよむを、同じ愚管抄に、後の京極殿との、字をそへてかきたり、

〔梅園日記一〕大臣稱號後字

樋口殿記云、臣下ニ後トヨムハ、後京極、後德大寺、後成恩寺バカリ也。有職玉の枝云、後といふは、天子の號計<sup>（べかり）</sup>にて候哉、答、其通りにて候然れども、後德大寺、後京極、是は古へよりごとよみ來る故、其通りよみて不苦候、其外は後<sup>（アフチ）</sup>と讀たるがよく候、後成恩寺殿などよみ申候、關秘錄に、後京極、後德大寺は、音に後と唱ふ。美<sup>（シテ）</sup>しは其人品德義を賞、年山紀聞云、和長卿日記云、凡儒中ノ故實者、天子之追號、後字用音讀、大臣稱號之時、後字用訓讀、是通法之故實也云々、又大臣稱號之内、後京極殿之一號、人皆後字用音歟、是無